

交野市教委ニュース

第106号（平成31年4月18日発行）

平成31年度の小中一貫教育の取組みスタート！

平成31年4月11日（木）、第一中学校において交野が原学園 第1回小中一貫教育プロジェクト会議が開催されました。今年度も第1回目は第一中学校・交野小学校・長宝寺小学校の全教職員が集まり、前半は全体会として会長の第一中学校長から今年度のスローガンと取組み内容の説明があり、併せて交野市教育委員会学校規模適正化室の室長と室長代理から「第一中学校区における魅力ある学校づくりについて」の説明がありました。

後半は、プロジェクトチームごとに、昨年度からの引継ぎや今年度の取組みについて話し合われました。

全体会のようす

前半の全体会では第一中学校長から、「小中一貫教育モデル校区として3年目となり、カリキュラム概要版の作成、9年間のつながりを見据えた公開授業など、この2年間で先生方が取り組んできたことを、引き続き交野が原学園の教職員全員で取り組んでいきたい」との話がありました。また、今年度のスローガンを「交流と連携で育む交野が原っ子 ～15歳の学力保障～」とし、中学校卒業時の姿を想定して全員の教職員で小中一貫教育に取り組むことが重要である、とあいさつされました。

さらに今回は、学校規模適正化室より、一中校区での施設一体型小中一貫校の整備に向けての説明がありました。他府県の施設一体型小中一貫校の事例がスライドで示され、今後、交野が原学園の先生方の意見を聞く機会も持ち、どのような施設であれば子どもたちや先生たちにとって魅力ある学校になるのかを一緒に考えていきたいと話されました。



プロジェクト会議のようす

後半のプロジェクト会議では、第1回目としてプロジェクトAの会議が行われました。プロジェクトAは、「授業づくり」「児童会・生徒会の活動の交流」など教科以外の取組みを進める7つのワーキングチームに分かれています。年間を通して、3校でそろえることができるものや小中の児童生徒と一緒に取り組める行事などを、3校の先生方が考え、実践していきます。今回は、昨年度の引継ぎと今年度の年間計画を作成しました。どのチームも交野が原学園の子どもたちのために、真剣に話し合う姿が見られました。

